

2014年のテレビ東京開局50周年へ向けて、次世代を担うメディアグループを目指します。

中期経営計画については当社IRサイトもご覧ください。決算説明会の状況(動画)や資料を掲載しています。

Check!

TXHD 決算説明会

検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/library/presentation/>

2012年度上半期は堅調な放送収入により増収達成、視聴率は上昇

2012年度第2四半期連結累計期間(2012年4月～9月)の業績をご報告するにあたりまして、まず株主の皆様の日ごろのご支援に心から御礼申し上げます。

当社グループの当上半期の業績は、(株)テレビ東京及び(株)BSジャパンの放送収入が堅調に推移したことなどによって連結売上高は557億4千1百万円、前年同期比5.0%の増収となりました。一部のグループ会社が減益となったことから営業利益は11億5千1百万円、前年同期比15.1%の減益にとどまりましたが、四半期純利益については子会社株式の売却益があったことなどによって11億1千8百万円、前年同期比57.4%の増益となりました。

この上半期は、スポット収入が東日本大震災の影響を受けた前年度から大きく回復しましたが、足元の広告市況はやや弱含んでおり、世界経済の停滞は長引くと思われれます。このため通期の業績予想は売上高を1,140億5千9百万円、営業利益を20億1百万円に修正いたしました。

放送事業の中核であるテレビ東京の視聴率は、引き続き「原点回帰」をコンセプトに番組編成を進めたところ、2012年度上半期の視聴率はゴールデンタイム6.5%(前年同期比1.0ポイント増)、プライムタイム6.2%(同1.0ポイント増)、全日2.9%(同

0.4ポイント増)と3部門とも上昇しました。

開局50周年を目指し2013中期経営計画を策定

当社グループは、2014年にテレビ東京が開局50周年を迎え、2015年以降には放送に不可欠なマスター設備の更新や、これにあわせた新社屋の整備計画などが控えており、今後、重要な時期を迎えます。

この節目の時期を次の50年の成長の礎とするために「2013中期経営計画」の策定を進めています。その第一歩として、まず計数目標を定めました。計画の最終年度である2015年度の売上高は1,274億円、営業利益は44億円といたしました。現在は「2011中期経営計画(現中期計画)」の遂行途中にありますが、「2013中期経営計画」も現中期計画の柱である「番組コンテンツ力の強化」「デジタル戦略の推進」「アジア展開の加速」の3つの基本方針を堅持し、さらに推進いたします。この基本方針に基づく施策は結果を出し始めています。「原点回帰」をコンセプトに掲げたテレビ東京の視聴率は確実に回復しているほか、ハイクオリティな番組を放送するBSジャパンは二桁成長を続けています。そして、地上波放送、BS放送で培ってきたコンテンツ制作力をデジタル戦略の分野でも発揮するほか、欧米だけでなくアジアに向けてもコンテンツを提供するなど、当社グループの活躍する舞台は大きく広がっています。

東日本大震災発生から一年の節目に放送した「明日をあきらめない…がれきの中の新聞社 ～河北新報のいちばん長い日～」が、第8回日本放送文化大賞グランプリを受賞しました。この震災をどう記録し、伝えていくかはメディアにとって大きな責任と役割があります。名誉ある賞をいただいたことは当社グループの制作力が評価されたことと受け止め、これを誇りに今後もメディアに課せられた使命を果たし、良質なコンテンツを視聴者の皆様に提供してまいります。

テレビ東京開局50周年のキャッチコピーは「まっすぐ、ずっと。」です。責任あるメディアとして、独創性豊かなコンテンツ創造集団として、私たちは信じる道を「まっすぐ」に「ずっと」歩き続けていくという決意とメッセージを込めています。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長

島田昌幸

しまだ まさゆき